

「今、何の病気が流行しているか！」

(川崎市感染症発生動向調査事業—令和5年第13週)の情報提供について

市内の定点医療機関から提供された感染症の患者発生情報をもとに市民提供情報である「今、何の病気が流行しているか！（令和5年第13週）」を作成しましたのでお知らせします。

令和5年第13週（令和5年3月27日から令和5年4月2日まで）

第13週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）インフルエンザ 2）感染性胃腸炎 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は4.51人と前週（6.90人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.27人と前週（4.05人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.51人と前週（0.35人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

今週のトピックス

“9価のHPVワクチンが定期接種に導入されました！”について取り上げました。

我が国では、令和5年4月から、9価のヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンが定期接種に導入されました。

HPVは子宮頸がんなどの原因ウイルスで、女性の多くが一生に一度は感染するといわれています。HPVには多くの型がありますが、特に16型及び18型は、子宮頸がんの主要な原因となります。HPVワクチンは、含まれるHPVの型の数により、現在は2価、4価及び9価の3種類がありますが、いずれも16型及び18型を含みます。さらに9価のワクチンは、他に5つの型による子宮頸がんも予防することができます。

ワクチンの種類や年齢により、接種のタイミングや回数が異なるため、事前にホームページなどで確認しましょう。

川崎市感染症発生動向調査事業では、感染症のまん延の防止と市民の健康の保持に寄与するべく、市内の定点医療機関（小児科定点37施設、インフルエンザ定点61施設、眼科定点9施設、基幹定点2施設）等から報告された感染症発生状況をもとに集計を行い、市内の感染症の発生状況の正確な把握と分析、市民や医療関係者への情報の提供を行っています。

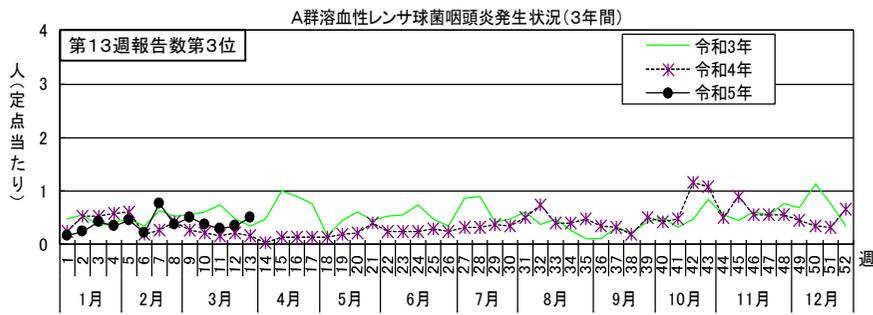
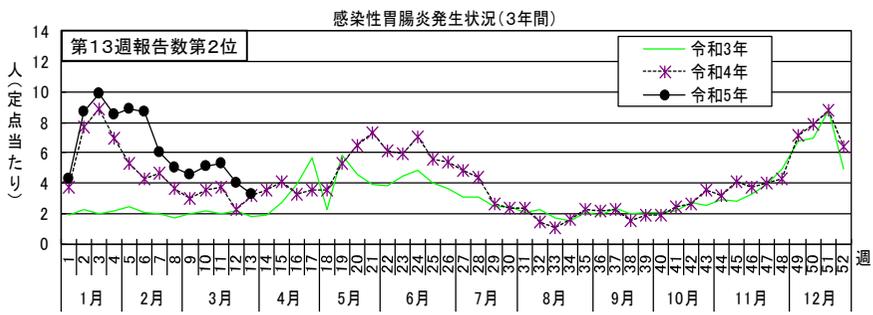
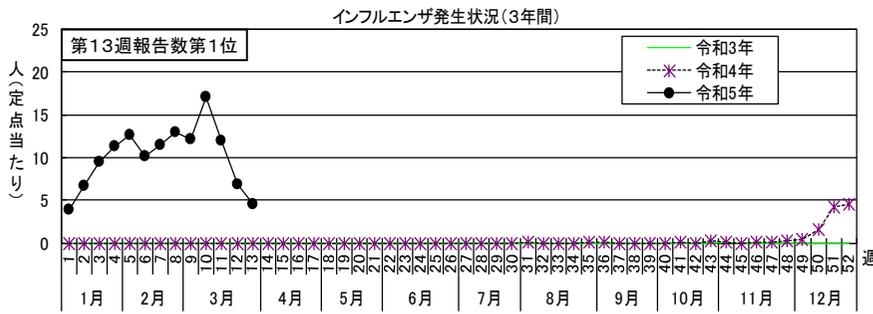
連絡先 川崎市健康福祉局保健医療政策部感染症対策担当 小田
電話044（200）2446
川崎市健康安全研究所 三崎
電話044（276）8250

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和5年3月27日（月）～令和5年4月2日（日）〔令和5年第13週〕の感染症発生状況

第13週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は4.51人と前週（6.90人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.27人と前週（4.05人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.51人と前週（0.35人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



9価のHPVワクチンが定期接種に導入されました！

我が国では、令和5年4月から、9価のヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンが定期接種に導入されました。

HPVは子宮頸がんなどの原因ウイルスで、女性の多くが一生涯に一度は感染するといわれています。HPVには多くの型がありますが、特に16型及び18型は、子宮頸がんの主要な原因となります。HPVワクチンは、含まれるHPVの型の数により、現在は2価、4価及び9価の3種類がありますが、いずれも16型及び18型を含みます。さらに9価のワクチンは、他に5つの型による子宮頸がんも予防することができます。

ワクチンの種類や年齢により、接種のタイミングや回数が異なるため、事前にホームページなどで確認しましょう。

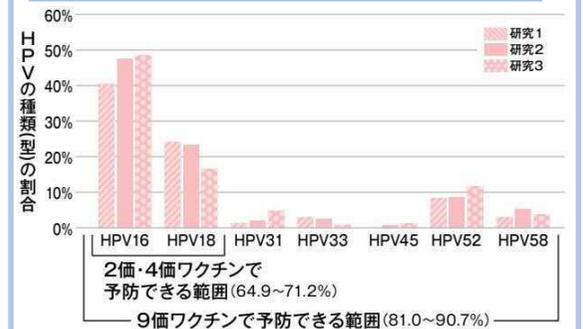
川崎市HPVワクチン接種事業について

対象者：接種日時点で川崎市に住民登録がある、
小学校6年生相当～高校1年生相当の女子*
*対象年齢を過ぎた方であっても、平成9年4月2日以降に生まれた女性は、令和7年3月31日まで対象となります。

実施場所：市内の予防接種個別協力医療機関
接種ワクチン：HPVワクチン（2価、4価及び9価）
接種費用：無料

*詳細は川崎市ホームページ「ヒトパピローマウイルス感染症（HPVワクチン）の予防接種について」をご覧ください。

日本人女性の子宮頸がんにおけるHPVの種類(型)の割合と、ワクチンで予防できる範囲



研究1：Onuki, M, et al. (2009). Cancer Sci 100(7): 1312-1316.
研究2：Azuma, Y, et al. (2014). Jpn J Clin Oncol 44(10): 910-917.
研究3：Sakamoto, J, et al. (2018). Papillomavirus Res 6: 46-51.
「9価ワクチン接種のお知らせリーフレット」(厚生労働省)より作成